

The Chuusankan Times

藤枝市中山間地域発、人、コト、モノ、アート News

今、北の中活が熱い！

～ふじえだ陶芸村構想～

地域おこし協力隊 榎木令子隊員 Presents

SPAC 静岡県舞台芸術センター×TheForest アーティスト・イン・レジデンスプログラム開催

SPAC の俳優が藤枝の子どもたちと作るオリジナルの劇を公開

3年間の交流で育まれた想像力の成果を一般公開



子ども達の想像力で上演された影絵劇



劇を演じた子ども達と SPAC 俳優加藤幸夫氏

11月26日(日)に、市之瀬交流ヴィレッジ“おかえり”において、アーティスト・イン・レジデンスプログラムの一つとして、静岡県立劇団 SPAC と藤枝市内の小学生9名の子どもたちが制作した劇「森のものがたり～不思議な生きものたちとじかん～」が上演されました。

この企画は、地域おこし協力隊の榎木隊員によるものです。榎木隊員は、2021 年から市之瀬交流ヴィレッジ“おかえり”を会場に、小学生以下の子供たちを対象に造形教室「こどものじかん」を開催し、学校とは違うユニークな時間・空間づくりを目的に、様々なアーティストや地域の方とも交流をしてきました。

この造形教室には、SPAC から俳優の加藤幸夫氏が講師として参加し、アートを用いた地域活性化の新たな取り組みに、継続的に関わってきました。

今回、上映された劇では、これまでの活動を通じて育まれた、子どもたちの創造する力や自由な発想で生み出された”不思議な生き物たち”が住む森の物語が、オリジナルの歌や影絵により表現されました。オリジナルの歌は、子どもたちが出し合った単語を紡ぎ歌詞にしてつくられました。

SPAC 俳優の加藤幸夫氏からは、「子ども達のイマジネーションから創造された、この歌自体が奇跡の歌だと思う」といったコメントが寄せられました。

※12月10日放送のSBSテレビの「元気！しずおか人」で、榎木令子隊員が取り上げられ、本日の劇上演の様子が放映される予定です。